

平成18年度「教育研究支援プロジェクト経費」成果報告書

プロジェクトチームの代表者 部・講座等名 地域連携センター
氏 名 藤原 伸彦

プロジェクトの 名称	「教育実習の手引き」の改訂	配分 予算額	360,000円
プロジェクトの 概要	<p>本プロジェクトでは、学生の大学の講義や実習における学びを支援し実践力の育成を促進することを目的として、本学実地教育において使われている「教育実習の手引き」を改訂した。具体的には、本プロジェクトでは、本学附属四校園の実習の手引きと大学・地域連携センター・実地教育分野が提供してきた全ての手引きを合せて一冊にし、さらに実習と大学の授業との関連についての情報などを追記した新しい「実習の手引き」を作成した。完成した「実習の手引き」は、添付資料のとおりである。</p> <p>●予算の使途について 本プロジェクトの経費では、従来、印刷物ベースでのみ扱っていた「教育実習の手引き」をPCで扱えるようデータ入力した。実地教育分野では、将来的に「デジタル版教育実習の手引き」を作成する構想を持っているが、そのために必要な機材、ソフトウェアおよび消耗品を購入した。</p>		
成果の概要	<p>成果は、添付の資料のとおり。</p> <p>2007年4月11日に実施した「附属校園実習・主免実習 事前指導」において、本年度、附属校園実習受講する学部3年生および主免実習を受講する長期履修2年生に配布し、実習に向けての学びに活用するよう指導した。学部1年生、2年生、および長期履修1年生にも、本年度9月のふれあい実習までには配布する予定である。</p> <p>新しい「教育実習の手引き」は、本学教員、附属校園教員にも近日中に配布予定である。</p> <p>当初の予定では、教職に就いてからも使用に耐えるものを作成することを目指していたが、編集等の都合により、そのレベルに十分到達したものができなかった。だが、手引き自体は、本年度以降も改訂を重ねる予定にしており、その中でレベルの高い手引きを作成していく予定である。</p>		

- (注) 1. 箇条書き等により簡明に記入すること。
 2. 概要については、800字程度にまとめること。
 3. 研究協力者として院生等が参加している場合、院生等の報告書があれば添付すること。
 4. なるべくパソコン等で作成願います。